

追加
募集

【令和7年度 地域力創造研修(広域連合企画)】
より良い協働とまちづくりのための
ファシリテーション
実施要領

この機会に
ぜひ、お申込み
ください！

- 1 研修の目的 持続可能な地域づくりを、多様な主体と協働で行っていくための知識やスキルを学ぶ。
- 2 対 象 市町村職員及び地域住民等
- 3 定 員 48人(内、市町村職員36名、地域住民等12名)
- 4 日 程 令和7年7月18日(金)
- 5 会 場 高知県自治会館2階 こうち人づくり広域連合研修室
(高知市本町4丁目1-35)
- 6 持参物 職場でお使いの名札



カリキュラム		時間	講師
10:00	0 はじめに 1 ファシリテーションとは 2 準備の基本 3 対話の基本 4 対話の場づくりの実際 5 多様な主体との対話をめざして 6 全体振り返り	5.0	特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 フェロー 加留部 貴行 (かるべ たかゆき)  【略歴】 1967年福岡県出身。九州大学法学部卒業後、西部ガス(株)へ入社。人事、営業、新規事業部門に従事。 2001年に福岡市へNPO・ボランティア支援推進専門員として2年半派遣。市民や職員との対話を通じて福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」を立ち上げる。 2007年から九州大学へ出向し、ファシリテーション導入を通じた教育プログラム開発などを担当した。企業、大学、行政、NPOの4セクターを経験した「ひとり産学官民連携」を活かした共働ファシリテーションを実践。 2011年4月に独立。現在は、加留部貴行事務所AN-BAI代表や、九州大学大学院統合新領域学府客員教授、福岡市共創による地域づくりアドバイザーなどを務めている。 2024年には佐賀市松梅地区に取得した空き家をリノベーションして、地域のくらし×対話と学び×社会活動が混ざり合う「サード&フォースプレイスパーク」となる新たな対話交流拠点「松梅ランチ」を開設。 【著書】 参加したくなる会議のつくり方(ぎょうせい) 地域共創のすすめ(共編著/北樹出版) チーム・ビルディング(初版)(共著/日本経済新聞出版社) 教育研修ファシリテーター(共著/日本経済新聞出版社)
16:00			

担当より	住民との話し合いや職場での打合せで、「なかなか意見が出なくて進まなかった。」「結局何が決まったかよく分からなかった。」なんて経験はありませんか。そんな悩みを解決し、有意義な話し合いをする手法のひとつに、ファシリテーションというものがあります。今回はファシリテーションとはなにか、どのような役割があるのか、その技法についてご講義いただきます。
------	--

こうち人づくり広域連合 担当：田村
高知市本町4丁目1-35 高知県自治会館4階 TEL:088-873-0333 FAX:088-872-7716
E-mail:kouiki@kochi-hitozukuri.or.jp HP : <http://www.kochi-hitozukuri.or.jp>